



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

会社名 GMOクリック証券株式会社

URL <https://www.click-sec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高島 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 (氏名) 藤井 孝英 (TEL) 03(6221)0203

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,273	△2.4	10,800	△2.8	4,065	15.0	4,070	15.5	2,185	0.3
23年3月期第3四半期	11,552	△1.1	11,116	△0.3	3,534	△31.0	3,525	△31.1	2,179	△26.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,167百万円(△0.5%) 23年3月期第3四半期 2,179百万円(-)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	121.37	—
23年3月期第3四半期	143.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	149,634	13,992	9.4
23年3月期	131,059	12,923	9.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,992百万円 23年3月期 12,923百万円

2. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	18,010,400株	23年3月期	18,010,400株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	—株	23年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	18,010,400株	23年3月期3Q	15,210,400株

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初は、甚大な被害をもたらした東日本大震災の影響により、個人消費の減退や企業業績の悪化が見られましたが、その後は、サプライチェーンの復旧が進み、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、欧州債務問題を発端とした世界経済の低迷や長引く円高などにより、国内経済は、依然として先行きの不透明な状況となっております。

株式市場では、期初は、日経平均株価は9,700円台で取引が開始され、期中までは、株価は9,000円台半ば付近でのボックス相場で推移し、8月以降は、欧米諸国の財政危機問題の拡大により、株価は下落傾向で推移し、当第3四半期連結累計期間末における終値は8,455円35銭となりました。

外国為替市場では、期初は1ドル＝83円台で取引が開始され、当初は円売りの動きが強まったことで、1ドル＝85円台まで下落する場面もありましたが、以降は、円高傾向で推移する状況が続き、1ドル＝76円台で当第3四半期連結累計期間末を迎えました。

このような状況の中、当社は、「信用取引手数料無料キャンペーン」等の各種キャンペーンの実施や、店頭外国為替証拠金取引「FXネオ」の取引スプレッドの縮小、外為OP取引専用のiPhoneアプリをはじめとする各種取引ツールの提供開始、および取引環境の継続的な改善を行うことで、取引コストを含む顧客利便性の向上を図ってまいりました。

これらの諸種の施策により、当第3四半期連結累計期間末における当社の証券取引口座は125,759口座（平成23年3月末106,770口座）、店頭外国為替証拠金取引口座は203,990口座（平成23年3月末161,196口座）となり、顧客基盤は更に拡大しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は11,273百万円（前年同期比2.4%減）、純営業収益は10,800百万円（同2.8%減）、営業利益は4,065百万円（同15.0%増）、経常利益は4,070百万円（同15.5%増）、四半期純利益は2,185百万円（同0.3%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、主な収益および費用の状況は次のとおりです。

（受入手数料）

当第3四半期連結累計期間における受入手数料は2,225百万円（前年同期比35.2%増）となりました。主な内容は、株式取引・株価指数先物およびオプション取引・取引所為替証拠金取引などによる委託手数料、ならびに店頭外国為替証拠金取引におけるロスカット手数料などのその他受入手数料であります。

（トレーディング損益）

当第3四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は8,105百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

主な内容は、外国為替証拠金取引における取引損益などのその他トレーディング損益であります。

（販売費及び一般管理費）

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は6,734百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

主な内容は、委託取引にかかる取引所等への支払手数料や、顧客獲得および認知度向上のための広告宣伝費などから構成される取引関係費であります。

（特別利益、特別損失）

特別損失の主な内容は、法令上の要請に基づく金融商品取引責任準備金繰入れおよび社名変更に関連して生じた費用の計上となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は149,634百万円（前期末比18,575百万円の増加）、負債合計は135,641百万円（同17,506百万円の増加）、純資産合計は13,992百万円（同1,069百万円の増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間末における、各項目の状況は次のとおりです。

（流動資産）

当第3四半期連結累計期間末における流動資産は147,277百万円（前期末比18,543百万円の増加）となりました。これは、主に顧客資産の増加に伴い、預託金が77,229百万円（同5,196百万円の増加）となったこと、および短期差入保証金が23,519百万円（同6,475百万円の増加）となったことによります。

（固定資産）

当第3四半期連結累計期間末における固定資産は2,357百万円（前期末比32百万円の増加）となりました。これは、主に取引システムの開発によりソフトウェア仮勘定が98百万円（同66百万円の増加）となったこと、長期前払費用が102百万円（同41百万円の減少）となったことによります。

（流動負債）

当第3四半期連結累計期間末における流動負債は134,659百万円（前期末比17,414百万円の増加）となりました。これは、主に顧客資産の増加により受入保証金が102,027百万円（同26,998百万円の増加）となったこと、自己融資の拡大により信用取引負債が21,199百万円（同4,796百万円の減少）となったこと、短期借入金が1,725百万円（同4,171百万円の減少）となったことによります。

（固定負債）

当第3四半期連結累計期間末における固定負債は326百万円（前期末比57百万円の減少）となりました。これは、主にリース債務が36百万円（同34百万円の減少）となったことによります。

（特別法上の準備金）

当第3四半期連結累計期間末における特別法上の準備金は656百万円（前期末比149百万円の増加）となりました。これは、株式取引などの増加により所要準備額が増加したことによります。

（純資産）

当第3四半期連結累計期間末における純資産は13,992百万円（前期末比1,069百万円の増加）となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が6,440百万円（同1,087百万円の増加）となったことによります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,335	7,421
預託金	72,033	77,229
トレーディング商品	321	148
約定見返勘定	0	—
信用取引資産	27,984	27,354
立替金	354	213
短期差入保証金	17,043	23,519
支払差金勘定	4,968	9,930
前払費用	237	187
未収入金	1,289	717
未収収益	121	160
繰延税金資産	170	216
その他	132	391
貸倒引当金	△256	△212
流動資産合計	128,734	147,277
固定資産		
有形固定資産		
建物	125	102
器具備品	409	475
リース資産	111	77
有形固定資産合計	646	655
無形固定資産		
のれん	128	93
商標権	0	0
ソフトウェア	821	840
ソフトウェア仮勘定	31	98
無形固定資産合計	981	1,033
投資その他の資産		
投資有価証券	7	13
出資金	1	1
長期差入保証金	114	114
破産更生債権等	46	28
長期前払費用	144	102
繰延税金資産	428	436
その他	1	1
貸倒引当金	△46	△28
投資その他の資産合計	696	668
固定資産合計	2,324	2,357
資産合計	131,059	149,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	4	22
約定見返勘定	—	3
信用取引負債	25,996	21,199
預り金	6,263	6,390
受入保証金	75,028	102,027
有価証券等受入未了勘定	—	0
受取差金勘定	1,089	1,265
短期借入金	5,896	1,725
リース債務	44	46
前受収益	0	1
未払金	1,179	510
未払費用	602	826
未払法人税等	891	320
賞与引当金	142	176
役員賞与引当金	105	119
その他	—	23
流動負債合計	117,244	134,659
固定負債		
リース債務	71	36
長期未払金	289	289
資産除去債務	22	—
固定負債合計	384	326
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	506	656
商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	506	656
負債合計	118,135	135,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,346	4,346
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	5,353	6,440
株主資本合計	12,923	14,010
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△18
その他の包括利益累計額合計	—	△18
純資産合計	12,923	13,992
負債純資産合計	131,059	149,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業収益		
受入手数料	1,645	2,225
委託手数料	993	1,940
その他受入手数料	652	285
トレーディング損益	9,177	8,105
金融収益	721	915
その他の営業収益	7	26
営業収益合計	11,552	11,273
金融費用	436	473
純営業収益	11,116	10,800
販売費及び一般管理費		
取引関係費	4,558	3,310
人件費	726	1,088
不動産関係費	800	742
事務費	900	950
減価償却費	428	432
租税公課	108	144
貸倒引当金繰入額	15	8
のれん償却額	11	11
その他	32	45
販売費及び一般管理費合計	7,582	6,734
営業利益	3,534	4,065
営業外収益	1	10
営業外費用	10	5
経常利益	3,525	4,070
特別利益	0	4
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	105	149
投資有価証券評価損	57	2
事務所移転費用	17	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	—
その他	1	16
特別損失合計	185	169
税金等調整前四半期純利益	3,340	3,905
法人税、住民税及び事業税	1,287	1,773
法人税等調整額	△126	△53
法人税等合計	1,160	1,719
少数株主損益調整前四半期純利益	2,179	2,185
四半期純利益	2,179	2,185

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,179	2,185
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△18
その他の包括利益合計	—	△18
包括利益	2,179	2,167
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,179	2,167

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません